

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-3-3		事業名	将来交通体系の検討
担当	市民まちづくり局総合交通計画部交通計画課 木村 TEL211-2275			
全 体 計 画				
事業内容	<p>パーソントリップ調査とは、人の動きに着目した交通実態調査、現状の分析、将来交通の解析・検証を実施し、現在の少子高齢化などの社会情勢を考慮した将来の交通体系の検討を行い、将来の目標像であるマスタープランを策定するものである。本市では、過去3回にわたるパーソントリップ調査により移動実態を把握し、人口の増加や都市構造の進展などの将来予測を基に、交通基盤の目標であるマスタープランを策定してきた。</p> <p>しかしながら、近年、人口増加の沈静化、都市構造の変化、公共交通の乗車人員の減少など、交通をとりまく状況が大きく変化しており、今後のバス路線のあり方など、公共交通の維持・拡充について検証する必要がある。</p> <p>また、マスタープランの具体化に向け、自動車の使われ方や道路の交通量を調査する道路交通センサスなどを行い、予測と現状の確認を行いながら、課題解決に向けた効果的な事業展開を行うものである。</p>		＜年度別の事業内容＞	
			<p>平成19年度 現況分析</p> <p>平成20年度 マスタープラン素案検討</p> <p>平成21年度 マスタープランの策定 都市・地域総合交通戦略策定に向けた検討</p> <p>平成22年度 道路交通センサス 都市・地域総合交通戦略策定に向けた検討</p>	
事業内容・量・場・所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<p>平成18年度に実施した、パーソントリップ調査の実態調査を基に、道央圏における人の動きについて、各種基礎データの解析を行い、交通に関わる現況分析を行った。</p> <p>また、道央都市圏総合都市交通体系調査協議会を開催し、各種解析の方法や方向性について、確認を行いながら作業を進めた。</p>		<p>平成19年度に検討した、都市交通における現況分析を基に、将来の都市構造、人口フレーム、各種交通基盤(道路・地下鉄など)を設定した上で、交通需要予測を行い、都市交通マスタープランの素案の検討を行った。</p>	
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	<p>平成20年度に引き続き、都市交通マスタープランの素案の検討を行い、道央都市圏総合都市交通体系調査協議会による議論、パブリックコメントを経た上で、都市交通マスタープランを策定した。</p> <p>併せて、札幌市の短中期の実施計画としての交通戦略を含めた札幌市総合交通計画の策定に向けた検討を行った。</p>		<p>平成21年度の検討に引き続き、平成18年度に実施したパーソントリップ調査によって得られたデータを活用し、札幌市独自の将来交通に対する基本的な考え方の整理、また概ね10年間の短・中期計画となる交通戦略の検討をおこなった。平成23年度には「札幌市総合交通計画」を策定する予定である。</p> <p>この検討にあたっては、平成22年度より「札幌市総合交通計画策定委員会」を組織し、議論・調整等を行いながら検討を進めてきた。</p> <p>また、5年に1度、全国的に実施される道路交通センサスについて、道路台帳図や現地調査により各調査単位区間の延長、幅員、車線数等の整理を行った。</p>	

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-3-3			事業名	将来交通体系の検討					
達成目標の状況										
項目			18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)		
交通体系マスタープラン(MP)策定			調査、検討	調査、検討	素案検討	策定		策定 (20年度)		
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)										
<p>■市民との連携、市民参加 計画を検討するに当たり、協議会の中でPI(パブリックインボルブメント)・PR部会を設置し、市民への情報提供や意見集約を行った。具体的には、ホームページによる情報提供や、アンケート実施時の意見を取りまとめるとともに、市民参加として各種団体(障がい者団体、高齢者団体など)へグループインタビューを行い、様々な意見の集約に努め、計画検討に役立っている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] 各種団体(商工会議所、旅行業社、旅館・ホテル組合)などへグループインタビューを行い、情報の収集・意見交換を行った。 [情報協力] 各種団体から、現状の課題や要望など、情報収集を行った。 [その他の協力]</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 市民・企業向けに、現況分析結果をまとめたパンフレットを作成し、公共施設において配布した。 また、パーソントリップ調査の基礎データを、市民や企業などが、手軽に利用できるよう、その制度や体制について、検討中。</p>										
評価(成果)					課題					
平成18年度に実施した交通実態調査、平成19年度に実施した現況分析、各種団体のグループインタビューをもとに、都市交通マスタープランの策定に向けた検討を行った。検討にあたっては、それまでの調査・分析等により明らかになった問題点・課題に対応すべく都市圏の将来像を設定し、道央都市圏総合都市交通体系調査協議会のワーキング、幹事会、協議会において方向性を確認しながら作業を進め、平成22年3月に道央都市圏の都市交通マスタープランを策定した。					策定された都市交通マスタープランをわかりやすく市民へ情報提供できるよう、またパーソントリップ調査基礎データを、市民や企業などが、手軽に利用できるよう、周知方法等に更なる工夫が必要である。					
今後の事業の予定・方向										
平成18年度の交通実態調査、平成19年度の現況分析や都市圏の将来像の検討に引き続き、平成20年度から、都市交通マスタープランの素案の検討を開始した。 平成21年度には、道央都市圏総合都市交通体系調査協議会の議論、パブリックコメントを経た上で、都市交通マスタープランが策定された。 平成22年度からは、都市交通マスタープランが策定されたことを受けて、札幌市の短中期の実施計画としての交通戦略を含めた札幌市総合交通計画の検討を進めており、平成23年度に策定することとしている。										

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-3-3		事業名		将来交通体系の検討		
事業費の推移								
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費	102,000	129,000	5,000	60,000	296,000		
	財源内訳	国・道支出金	34,000	43,000	0	20,000	97,000	
		市の債	0	0	0	0	0	
		その他の	0	0	0	0	0	
		一般財源	68,000	86,000	5,000	40,000	199,000	
予算	事業費	102,000	87,000	38,000	12,000	239,000		
	財源内訳	国・道支出金	34,000	29,000	11,000	4,000	78,000	
		市の債	0	0	0	0	0	
		その他の	0	0	0	0	0	
		一般財源	68,000	58,000	27,000	8,000	161,000	
実績	事業費	102,000	87,000	38,198	15,657	242,855		
	財源内訳	国・道支出金	34,000	29,000	11,000	4,939	78,939	
		市の債	0	0	0	0	0	
		その他の	0	0	0	0	0	
		一般財源	68,000	58,000	27,198	10,718	163,916	
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					82.0%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)								
《全体》 道路交通センサス調査について、国との調整により調査規模が縮小となったことにより、全体の予算額及び実績額が減少している。								
[19年度]								
[20年度] パーソントリップ調査協議会において、冬期に関するデータ整理や方向性の検討などの追加検討が提案された。これらの検討に時間を要することと合わせて、市民意見の収集や合意形成など、十分なPI活動が必要であることから、マスタープランの検討を、H21まで行うよう変更した。これに伴い、予算及び実績額が減少している。								
[21年度] マスタープランの検討をH21までに変更したことに伴い、マスタープランの策定をH21に変更した。これに伴い、予算及び実績額が増額している。								
[22年度] マスタープランの策定年次が変更になったことから、都市・地域総合交通戦略の策定期間をH23に変更した。また、国との調整により、道路交通センサス調査の規模が縮小となったため、予算額及び実績額が減少している。								